

主な御意見の趣旨

- ファミリー向けの住宅供給が市内に限られる一方、大規模開発が旺盛な都市へ人口が流出しており、**近隣都市との連携や関係性をどう捉えるかが重要**
- 近隣都市と奪い合いの関係ではなく、**機能分担**という考え方も大事
- 人口確保と産業活性化の観点から、特に、市内の**南部、西部、東部**の課題に的確に対応し、**しっかりと伸ばしていく**ことが必要
- 南部や西部では交通政策が非常に大事だが、単に量を増やす発想でなく、合理的なネットワークを構築し、**方面間の有機的なつながりをつくっていく**ことが大事
- 東京や大阪を目指すのではなく、**「京都」を目指すことが重要**

拡充の方向性

- 京都都市圏の中核である本市の魅力と活力の維持・向上
- 魅力と活力の波及効果と京都都市圏全体の求心力の確保
- 東京一極集中への対応、京都ならではの魅力の発信

従来：京都都市計画区域マスタープランのもと関係市町と個々に調整
 ⇒**近隣都市との連携の意義や方針等を都市マスに位置付け**

- ・近隣都市との一体性や相互の効果を踏まえた都市計画
- ・創造ゾーンを新たなコアに京都都市圏の更なる活力の創出
- ・けいはんなや大阪都市圏も視野に京都独自の求心力の発揮

(現行都市マスで掲げる考え方)

国や関連する地方公共団体との広域的な調整

都市計画区域は、一体の都市として総合的に整備し、開発し、及び保全する必要がある区域であり、また、宇治市などが含まれている別の都市計画区域とも隣接しているため、今後は、国や連携する地方公共団体との広域的な調整が重要



【京都市と近隣都市との関係性のイメージ】

